

数量計算表

工事件名：200号建物他排水管等更新工事

項目	規格	算定	単位	適用数量
1 建築工事	執務並行改修			
1-1 仮設				
(1) 養生(内部改修)	複合改修	200号5.8*7.05+204号1.0*1.0	=	41.890 m ² 41.9
(2) 養生(内部改修)	搬出入路部分	200号30㎡+220号44㎡ 図面4/11参照	=	74.000 m ² 74.0
(3) 整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	1-1-(1)に同じ	=	41.890 m ² 41.9
(4) 整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	1-1-(2)に同じ	=	74.000 m ² 74.0
(5) 脚立足場	階高4.0m以下 改修 一般	204号1.0*1.0	=	1.000 m ² 1.0
1-2 撤去				
(1) コンクリート撤去	鉄筋切断共 ハンドブレーカ主体	200号 0.6*0.6*0.15*1.0か所	=	0.054 m ³ 0.1
(2) 防水押えコン撤去	厚100~150mm ハンドブレーカ	200号 0.6*0.6*0.12*1.0か所	=	0.043 m ³ 0.1
(3) カッター入れ	モルタル面	200号 0.6*0.6*1.0か所→0.6*4	=	2.400 m 2.4
(4) 床タイル撤去	下地モルタル共	200号 0.6*0.6*1.0か所	=	0.360 m ² 0.4
1-3 タイル工事				
(1) 内装床タイル	磁器質 無釉 50角	200号 0.6*0.6*1.0か所	=	0.360 m ² 0.4
1-4 金属工事				
(1) 床点検口	600角タイプ 床タイル仕上げ用	200号 1.0箇所	=	1.000 箇所 1.0
2 機械設備工事	執務並行改修			
2-1 改修工事				
2-1-1 撤去				
(1) 圧力配管用炭素鋼鋼管	SGTP65A 溶接接合 機械室・便所配管 再使用しない	220号 0.3+1.1+0.7+1.1図面10/11参照	=	3.200 m 3.2
(2) 配管用炭素鋼鋼管	SGP50A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.3+2.5+0.46+0.13+0.7(男子便所南)+0.3+0.27+0.22+0.7(女子便所北)+0.3+1.2+0.2+0.7(給湯室) 図面5/11、図面7/11参照+204号1.5*1.0箇所(図面9/11)	=	9.480 m 9.5
(3) 配管用炭素鋼鋼管	SGP65A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.33+0.75+0.28+0.7(男子便所北)+0.3+0.3+2.0+0.4+0.5+0.7(男子便所南) 図面5/11、図面7/11参照	=	6.260 m 6.3
(4) 鑄鉄管	DIP 40A ねじ接合 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.5+0.5+1.26(洗面器) 図面5/11、図面7/11参照	=	2.260 m 2.3
(5) 鑄鉄管	DIP 50A ねじ接合 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.5*4.0箇所(小便器)+0.5*1.0(T3B50) 図面5/11、図面7/11参照	=	2.500 m 2.5
(6) 鑄鉄管	DIP 65A ねじ接合 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.7*1.0箇所(掃除流し) 図面5/11、図面7/11参照	=	0.700 m 0.7
(7) 鑄鉄管	DIP 75A ねじ接合 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.5*5.0箇所(大便器)+4.0(COB男子便所)+2.0(COB女子便所)+6.0(COB給湯室) 図面5/11、図面7/11参照	=	14.500 m 14.5
(8) 鑄鉄管	DIP 100A ねじ接合 機械室・便所配管 男子便所立管 再使用しない	200号 3.0*1.0箇所(男子便所) 図面5/11、図面7/11参照	=	3.000 m 3.0
(9) 鑄鉄管	DIP 100A ねじ接合 機械室・便所配管 ビット内再使用しない	200号 1.0*1.0箇所(女子便所)+5.2+1.75(COB) 図面5/11、図面7/11参照	=	7.950 m 8.0
(10) 鑄鉄管	DIP 125A ねじ接合 機械室・便所配管 再使用しない	200号 1.2*2.0箇所(排水パイプ) 図面5/11、図面7/11参照	=	2.400 m 2.4
(11) 排水用鉛管	LP40A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 (0.3+0.7)*2.0箇所(男子便所、給湯室洗面器)+0.53+0.7(女子便所洗面器) 図面5/11、図面7/11参照	=	3.200 m 3.2
(12) 排水用鉛管	LP50A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 (0.3+0.7)*4.0箇所(小便器)+0.7(T3B50) 図面5/11、図面7/11参照	=	4.700 m 4.7
(13) 排水用鉛管	LP65A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 (0.3+0.7)*1.0箇所(掃除流し) 図面5/11、図面7/11参照	=	1.000 m 1.0
(14) 排水用鉛管	LP75A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 (0.3+0.7)*5.0箇所(大便器)+0.7(COB男子便所)+0.3+0.7(COB女子便所)+0.3+0.7(COB給湯室) 図面5/11、図面7/11参照	=	7.700 m 7.7
(15) 排水用鉛管	LP100A 機械室・便所配管 再使用しない	200号 0.3+0.7(男子便所北)+0.7(男子便所南) 図面5/11、図面7/11参照	=	1.700 m 1.7
(16) グラスカル保温筒	排水管 50A 天井内 再使用しない	204号 1.5*1.0箇所 図面9/11参照	=	1.500 m 1.5
(17) グラスカル保温筒	排水管 100A バイブシャフト内 再使用しない	200号 2.0*1.0箇所(男子便所) 図面5/11、図面7/11参照	=	2.000 m 2.0
(18) 床排水トラップ	T3B50	200号 撤去1.0箇所 図面5/11、図面7/11参照	=	1.000 個 1.0
(19) 排水トラップ	50A	204号 撤去1.0箇所 図面9/11参照	=	1.000 個 1.0
2-1-2 配管工事(改修)				
(1) 配管切断	鋼管類40A	200号 LP40A(手洗器・ビット内) 3.0箇所 → 鋼管類40A 3.0箇所 図面6/11参照	=	3.000 箇所 3.0
(2) 配管切断	鋼管類50A	200号 LP50A(小便器・ビット内)*4.0箇所+SGP50A(通気管・ビット内)*3.0箇所→鋼管類50A 7.0箇所 図面6/11参照+204号 SGP50A*1.0箇所 図面9/11参照	=	8.000 箇所 8.0
(3) 配管切断	鋼管類65A	200号 LP65A(掃除流し・ビット内)*1.0箇所+SGP65A(通気管・ビット内) 2.0箇所→鋼管類65A 3.0箇所 図面6/11参照+220号 SGP*1.0箇所 図面10/11参照	=	4.000 箇所 4.0
(4) 配管切断	鋼管類75A	200号 LP75A(大便器5.0+COB3.0箇所・ビット内)→鋼管類75A 8.0箇所 図面6/11参照	=	8.000 箇所 8.0
(5) 配管切断	鋼管類100A	200号 LP100(COB・ビット内)*2.0箇所+DIP100A(排水管・1階バイブシャフト内)*1.0箇所→鋼管類100A 3.0箇所 図面6/11参照	=	3.000 箇所 3.0
(6) 配管切断	鋼管類125A	200号 DIP125A(排水管・ビット内) 2.0箇所 → 鋼管類125A 2.0箇所 図面6/11参照	=	2.000 箇所 2.0
2-1-3 はつり工事				
(1) 機械はつり	貫通口径100φ コンクリート厚さ150程度	200号 1.0箇所 図面6/11参照	=	1.000 箇所 1.0

数 量 計 算 表

工事件名：200号建物他排水管等更新工事

項目	規格	算 定		単位	適用数量
2-2 共通工事					
2-2-1 配管工事					
(1) 硬質ポリ塩化ビニル管	40A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(4)+2-1-1(11)	=	5.500 m	5.5
(2) 硬質ポリ塩化ビニル管	50A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(2)+2-1-1(5)+2-1-1(12)	=	16.700 m	16.7
(3) 硬質ポリ塩化ビニル管	65A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(3)+2-1-1(6)+2-1-1(13)	=	8.000 m	8.0
(4) 硬質ポリ塩化ビニル管	75A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(7)+2-1-1(14)	=	22.200 m	22.2
(5) 硬質ポリ塩化ビニル管	100A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(9)+2-1-1(15)	=	9.700 m	9.7
(6) 硬質ポリ塩化ビニル管	125A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(10)	=	2.400 m	2.4
(7) 耐火2層管	100A 通気・排水 機械室・便所配管	2-1-1(8)	=	3.000 m	3.0
2-2-2 配管附属品					
(1) 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)	SUS製 JIS B 2352、1.0MPa、フェーブ有効長1,600mm以上 65A	220号1.0個図面11/11参照	=	1.000 個	1.0
2-2-3 保温工事					
(1) ポツケル保温筒	排水管 50A 多湿箇所	2-1-1(16)に同じ	=	1.500 m	1.5
(2) ポツケル保温筒	排水管 100A 多湿箇所	2-1-1(17)に同じ	=	2.000 m	2.0
2-3 衛生器具設備工事					
(1) 排水トラップ	50A	204号 1.0個図面9/11参照	=	1.000 個	1.0
3 配管ピット内清掃					
(1) バキューム車作業		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 台	1.0
(2) 汚泥水処分		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 m ³	1.0
(3) 高圧洗浄作業		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 式	1.0
(4) 汲取り清掃費		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 式	1.0
4 排水管詰まり清掃	便器等の給排水衛生器具の取外しは実施しない。				
(1) 高圧洗浄清掃作業		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 式	1.0
(2) 高圧洗浄機材車両費		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 日	1.0
(3) 配管清掃機清掃作業		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 式	1.0
(4) 尿石除去用薬品費		200号 1.0式図面6/11参照	=	1.000 回	1.0
5 発生材運搬処分					
5-1 発生材運搬					
(1) 建設系廃棄物	0.75トラック相当	1.0台程度	=	1.000 台	1.0
5-2 発生材処分					
(1) 解体系混合廃棄物	がれき類	1.0式	=	1.000 式	1.0